

さあ、子育てを楽しもう

大人だってそうですよ。誉めてもらおうとともうれしくて、もつとがんばる気持ちになるけれど、だめだっていつも言われたら、沈んでしまいます。そして、難しいとは思いますが、口を出したくてもそこをぐっと我慢します。やはり、そこが真の子育て、そして人を育てるコツだと思います。

私も自分が子育てをしていた時は、「早くしなさい。早くしなさい。」と本当によく言っていたと思います。でも、今、孫を見てみると、娘に對し「そんなことを言わなくてもいいのに。」と客観的に見ることでできます。今、自分の子どもが産んだら、ものすごくいい子ができるとはなあと残念です。その代わり、園の子どもたちはそ



▲子どもも中も座談会
はげんきいっぱい!



のように育てています。若い先生方にもそう言っています。

西岡…そろそろ、時間もまいりましたので、白石町長にまとめと感想をお願いしたいと思います。

町長…私も子育てでは、「早くしなさい。」が口癖でした。しかし少しずつ年をとって、スピード感がなくなってくるとそうは言えません。おじいちゃんおばあちゃんが孫に甘いのは、孫とちようどスピードが合うからなのです。

今、いろいろと子育てについての悩みや問題がテレビや新聞に取り上げられています。私は、記者としてニュースにたずさわっていただけから感じるのですが、大阪の池田小学校の事件や若い母親の幼児虐待事件などの報道の取り上げ方は、不安をあおるような傾向があり、ひとつ事件があるともまるでそのことが全国的に蔓延しているように論評されがちです。

報道により不安が広がり、自分の子育ては間違っているのだからかと自信を無くしてしまうことが、大きな事件や問題に繋がるのではないのでしょうか。

高齢者福祉ももちろん大切ですが、これから育っていく、未来のある子どもたちも同じように大事です。最初のところで大きく間違ってしまうと、子どもたちにとっても親

にとつてもたいへん不幸なことです。そうなる前に、誰かに聞いてもらったり、助けてもらうことができれば、事件や問題の芽は小さなうちに摘めると思います。支援センターとはその位置付けにあります。

ただ、ここはあくまで「子育て支援センター」であって、「子育てセンター」ではありません。子育てするのは、皆さん方です。心配や不安がすつと言葉や表情に出せて、それを支援センターで解決できることが、一番の理想です。ここをそのように利用していただければ、非常によい環境が広がると思います。

また、皆さん方のように利用してくださる方はよいのですが、今、本当に困っている方や苦しんでいる方に利用していただけるよう輪を広げていくことが一番重要です。ぜひ、皆さんに、周辺の方とほんのちよつとした不安や心配を気軽に話し合える雰囲気やムードを、どんどんつくっていただきたいと思います。

最後になりましたが、皆さんによいお知らせがあります。松前町も松山広域圏に入って協定を結び、平成14年度から子ども24時間救急体制を実施します。これにより365日24時間いつ何時でも、子どもさんが病気になる時、救急病院の小児科医に対応してもらう

ことができるようになります。3月の議会でも決されれば、4月からスタートすることになります。

これからもいろいろな機会を通じて、町民の皆さんのご意見やご感想を直接お聞きし、それを町政に反映させていきたいと考えています。

また、こういう機会をつくっていただければ、時間の許す限り参加させていただきます。ぜひ、よろしくお願ひします。

本日は、貴重なご意見をお聞かせいただきありがとうございます。



▶町長さんと握手できようなら